

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓

活動団体名：八女が好き8C（やし）！やめスマ研究所

活動地域：福岡県 八女市

活動におけるテーマ

やっぱり八女がよかー！



強い田舎を創りたい

“ステキ”に“バケツツケル”八女

友達
1000人
できた！

活動団体および活動地域の紹介

活動地域：福岡県 八女市

人口：6万92人
(2023年12月末時点)

自然：総面積の65%が森林
森林面積 315.25km²
総面積 482.44km²

農作物：お茶、筍、
いちご・なし・ぶどう等

伝統工芸：仏壇、提灯、
手すき和紙、石灯籠等



活動団体：(株)アズマ⇒やめスマ研究所 (2022年7月キックオフ)



コアメンバー：(株)アズマ、やめエネルギー(株)、マーケティングミックス(株)
地域コーディネーター：横山 泰治 (一般社団法人サステナブルコミュニティ共創機構)
ステークホルダー：19団体



活動団体および活動地域の紹介



AZUMA 株式会社 アズマ



やめ
スマ研究所



活動団体および活動地域の紹介

□昨年度のマンダラ

2050年 “ステキ”に“バケツツケル”八女

地域資源と共に在り、
輝く“ヒト”を育む八女

チャレンジを応援できる
“ヒト”を育む八女

地域経済をリードする
“ヒト”を育む八女

やめ研究所
YAME CITY SMILE LAB

やっぱり八女がよかー！

友達
1000人
できた！

魅力的な仕事
数多く創出される八女



みんなが地域を
語る八女

新しいことを
始めやすい八女

現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

ステークホルダー ミーティング

理想の地域の未来の姿を実現するための
地域課題解決型のプロジェクトを実行していく



やめ研究所

YAME CITY SMILE LAB

理想の地域の未来の姿について考え
対話できるきっかけづくり

年間スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◆キックオフミーティング					◆中間共有会				◆成果報告会
やめスマ研究所(もっとと広く!)	主催			▼ホームページ・各種SNS準備	▼SDGsカードワーク 7月13日	▼プレウォークラリー 8月1日	▼コミグラ体験 8月3日	▼やめスマ交流会 8月5日		▼やめクエリストウォークラリー 11月11日			
	コラボ・依頼				▶八女青年会議所 基調講演 7/12			▶立花地区民生委員連絡協議会研修「SDGsカードワーク」10/11					
					▶筑後中小企業経営者協会 イベント登壇 8/2		▶久留米同友会「2030 SDGs」8/10		▶八女青年会議所 キャンプ事業ワークショップ10/28				
					▶嬉野中学校教員向け「2030 SDGs」8/21		▶八女商工会議所青年部「2030 SDGs」8/21		▶地域づくりネットワーク筑後ブロック会議 講演 11/21		▶社協×やめスマ研究所「コミグラ体験」11/18		
									▶姫野中学校学生向け「2030 SDGs」11/28				
ステークホルダーミーティング(もっとと深く!)		▼キックオフMTG 4月20日		▼ステークホルダーMTG 6月20日	▼ステークホルダーMTG 7月31日	▼ステークホルダーMTG「87ライブ」 8月22日	▼ステークホルダーMTG 9月26日	▼ステークホルダーMTG 10月24日	▼ステークホルダーMTG 11月29日		▼ステークホルダーMTG 1月30日	▼ステークホルダーMTG 2月29日	
							分科会						
やめスマ研究所全体 + 地域間連携		▼コアメンバーMTG					▼第1回全国地域エネルギーサミット 9月29日		▼宮城県石巻市・東松市視察 11月20~22日				▼宮城県石巻市教育旅行 3月16~18日

▼情報交換会

今年度チャレンジした主な取組内容

取組①「未来を考える・地域でつながるキッカケづくり～もっと広く！～」

【活動内容】

やめスマ研究所を1人でも多くの方々に知ってもらい触れてもらい、地域の未来や地域でつながるキッカケづくりを目的に、各種ワークショップや地域の魅力を再発見するためのウォークラリーイベントを主催するだけでなく、地域の団体やプレイヤーとコラボして実施

【成果】

今年度15回以上のワークショップやイベントで計570名程の地域内外の方々にやめスマ研究所に触れて頂いた。

また、各イベントを地域の団体やプレイヤーと共創したことで、新たなつながりが出来、つながりを深めたことで今後の活動に生かせる状態をつくる事が出来た。

【活動の様子（写真など）】



取組②「地域課題解決型事業の事業化に向けた動き～もっと深く！」

【活動内容】

1年目の活動の中で地域の方々から出てきた「理想の八女の未来の姿」を実現するために、やめスマ研究所の想いに共感し主体的に行動することを選択して頂いたメンバーと、地域課題解決型事業の事業化に向けた取り組みをステークホルダーミーティングをベースに環境・社会・経済の3つの分科会に分かれてスタートした。

【成果】

既にやめスマ研究所をキッカケに、地元の祭りで再エネとEVの啓発を行う事業を実施済み、祭りに訪れた方々が「再エネがある暮らし」について考えるキッカケとなった

※12月3日社会福祉協議会のイベントでも実施

【活動の様子（写真など）】



取組③「同じ思いを持った他地域との連携」

【活動内容】

第1回全国地域エネルギーサミット in ながはま～あんたの出番よ！～9月29日

【成果】

『「エネルギーで地域を強くする」という強い思いを持った全国の仲間がつながって、お互いの強みを共有し、手を取り合うことで、それぞれの“ウズウズ”“モヤモヤ”を解決し、強い地域づくりに向かって改めて立ち上がるキッカケとしていく。』を目的に全国から200名以上が滋賀県長浜市に集まりサミットを滋賀県長浜チームと開催。

1日を通して、それぞれの地域で活動する中で感じているそれぞれの“ウズウズ”“モヤモヤ”を共有し全国のプレイヤーとつながることが出来た。

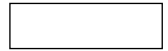
来年度は八女市で開催する。

【活動の様子（写真など）】



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

□ 本年度のマンダラ



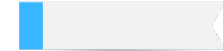
地域課題



地域資源



事業の担い手



事業

強い田舎を創りたい
“ステキ”に“バケツツケル”八女

やっぱ八女がよかー!



友達
1000人
できた!

経済 八女の地域笑舎

3R事業部
(リサイクル)

八女の人事部

やめすまBASE



地域の企業 若者 地域愛 伝統産業

地域資金の流出 魅力的な仕事の不足 山間部の高齢化 若者の域外流出

交通インフラの整備不足 八女の魅力の認知不足 教育機会の不足

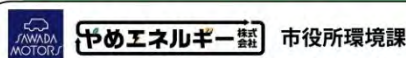
環境 魅力MaaS八女 社会 八女の楽校

EVと再エネの啓発事業
(八女の祭り)

EVシェア事業

やめクレスト
ウォークラリー

地域の人物図鑑



八女ボードゲーム

フォレストライン

地域おこし協力隊員 市役所若手職員 市役所企画政策課

地域企業・団体 自然エネルギー 既存交通インフラ

学生 自然 歴史・文化 伝統工芸

やめ研究所
YAME CITY SMILE LAB

キッカケづくり
+
場のコーディネート

- ・2030 SDGs
- ・コミグラ体験
- ・SDGs de 地方創生
- ・SDGsカードワーク
- ・脱炭素PLAY

八女みんなが
つながる文化祭

ステークホルダーマーケティング

現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

【現状の地域プラットフォーム】

『地域に必要とされるプラットフォームになるために』

もっと広く！

昨年巻き込めなかった方々（若者・学生・女性）を巻き込みながら、1人でも多くの方々に理想の地域について考え対話できる場の提供



「やみい」

もっと深く！

みんなの理想の地域の姿を実現するための地域課題解決型事業の事業化を同時多発的に実行することが出来るプラットフォームの構築



【地域プラットフォームの変化】

【やめスマ研究所～もっと広く！～】

□認知拡大

・ホームページや各種SNSを準備し、やめスマ研究所としての情報発信ができる状態を構築した

□地域団体・プレイヤーからの依頼やコラボが多発

・同世代の自治体職員や社会福祉協議会の職員、八女青年会議所のメンバーとワークショップやイベントを共創する機会が2年目から発生してきた

□自分たちで歩き始めた

・ワークショップやイベントの企画運営を自分たちで行えるようになり、スピード感と柔軟性の向上につながった

【ステークホルダーミーティング～もっと深く！～】

□コアメンバーの広がり

・ステークホルダーからコアメンバーになり、主体的に活動してくれる仲間が増えた

□事業化に向けて動き始めた

・事業化に向けて分科会に分かれ具体的な事業化に向けての動きをスタートした。

□やめスマ研究所がキッカケとなった事業の実施

・八女のまつりでの再エネとEVの啓発の事業など、やめスマ研究所がきっかけとなりカタチとなったものが生まれ始めた

プラットフォーム形成のポイント

地域のビジョンを描く

- 地域の関係者の話を仲間と共有する
- ありたい未来と現状との差を把握する
- 地域の構造を可視化・言語化する
- 外部にありたい未来を発信し、反応を得る
-

仲間を探す

- 地域にどんな関係者がいるかを調べる
- 関係者を訪問し、実際に話を聞いてみる
- 関係者と定期的に情報共有を行う
- 関係者に想いやメリットを伝え、参加の機会をつくる
-

体制を整える

- プラットフォームの機能や取組などの全体像を整理する
- 事務局(マネジメント)機能を設ける
- 自治体の総合計画や政策との関わりをつくる
- 実務的な役割をプラットフォーム内外で分担する
-

全ての項目は
互いに関わり
あっており、
順不同

事業を生み出す

- 事業/事業計画に関する基礎的な情報を提供する
- 事業計画の内容を聞き、ともに考える
- 先進的な事業を学ぶ機会をつくる
- 事業の試行を支援する
-

事業を考える

- 地域へのインパクト(効果・影響)を考える
- すでに地域にある既存の事業を整理する
- 事業の実施主体や支援者を探し、つながる
- 継続的に事業のタネが生まれる“仕組み”をつくる
-

取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

【成果】

□地域の方々と想いを共有しつながれた

・今までお互いに存在は知っていたがつながれたいなかった方々とこの取り組みを通してつながることが出来た

□地域の方々の“やりたい！”をカタチに出来た

・市役所の若手職員の立案で実行した「やめクエストウォークラリー1」や社会福祉協議会の職員さんの実現したい姿をカタチにしていくためのキッカケとして実施した「コミグラ体験」等地域の方々のやりたいをカタチにすることが出来た

□全国で新たな仲間が出来た

・全国で同じ想いをもち仲間とこの取り組みがキッカケとなりつながることが出来た

・つながった仲間と全国地域エネルギーサミットを実施できた

【課題】

□活動の幅と質の変化への対応

・1年目と比べるとワークショップやイベントの実行数が大きく増加し、企画から自分たちで自走することも多くなった。今後も活動を加速的に進めていくなかで、コアで活動する人員の確保は課題と考えている

□若者、学生の巻き込み

・2年目がスタートするタイミングから若者や学生の巻き込みは意識して活動してきた。日々の活動の中で、少しずつやめスマに関わってくれる地域の若者は増えてきたが、特に学生を中心に、地域の若者の巻き込みは意識して活動していく

□地域の団体・プレイヤーへのアプローチ

・活動をするなかで協力者や一緒に主体的に活動してくれるコアメンバーは表れてきたが、自分たちから個々の団体やプレイヤーに直接出向いてのアプローチが少ない現状がある。来年度以降実行したいプロジェクトを見据えてアプローチを増やしていく

活動における今後の展望

やめはできる!

もっと広く!

やめ研究所

『理想の地域の未来の姿について考え対話できるきっかけづくり』



3月

小郡市役所主催イベントでのワークショップ

9月
(予定)

あなたの出番よ! 第2回
「全国地域エネルギーサミット in やめ」

10月
(予定)

八女の魅力再発見!
やめクエストウォークラリー2

11月
(予定)

第1回「八女のみんながつながる文化祭」



もっと深く!

ステークホルダーミーティング

『理想の地域の未来の姿を実現するための
地域課題解決型のプロジェクトを実行していく』

